

研究実施のお知らせ

2026年4月8日 ver.1.1

研究課題名

頸動脈超音波検査時に偶発的に指摘された甲状腺腫瘍の特徴

研究の対象となる方

2016年1月から2025年12月の間に島根大学医学部附属病院で頸動脈超音波検査または甲状腺超音波検査を受けられた方

研究の目的・意義

頸動脈超音波検査では、動脈硬化の指標となる頸動脈の壁の厚み、プラークの有無、狭くなっている個所がないかを確認します。この検査の際に、頸動脈をみるために超音波をあてると、一緒に甲状腺が見えます。その際に、偶発的に甲状腺に腫瘍が発見される方がいらっしゃいます。

多くの甲状腺腫瘍は良性で、悪性であっても小さくリンパ節転移のないもの(乳頭癌に限り)は手術をせずに様子を見るが多くなっています。このため、日本甲状腺学会としては、無症状の方に対して積極的な甲状腺超音波検査をおすすめしていません。診察上、明らかに頸部に腫瘤がある場合や、CT検査などで甲状腺に腫瘍がある場合には甲状腺超音波検査の対象になりますが、そうでない方に検査を実施し、本来検査や治療が必要のない結節(腫瘍)が見つかってしまうのを避けるためにこのような対応をしています。

頸動脈超音波検査においても、甲状腺腫瘍が発見されることがありますが、この時の取扱いについては明確な指針がありません。そこで今回、当院においてどのくらい偶発的に甲状腺腫瘍が認められているのか、実際に精査や手術の対象になった方がどのくらいいらっしゃるのかについて検討し、頸動脈超音波検査において甲状腺腫瘍を認めたときに勧められる対応と課題について検討することを目的としています。

研究の方法

頸動脈超音波検査にて甲状腺腫瘍が認められた方の腫瘍の場所、大きさ、性質について確認し、実際にどのくらいの頻度で追加精査が実施されているのか、手術になった方がどのくらいいらっしゃったのかについて確認し解析します。または甲状腺腫瘍をお持ちの方で頸動脈超音波検査も受けた方のうち、頸動脈超音波検査にてどのくらい甲状腺腫瘍が指摘されていたかについて確認を行います。

これらの情報については、電子カルテを確認させていただき主に検査結果記録を確

認しながら入手します。具体的には以下の項目を収集いたします。

- 1) 年齢、性別
- 2) 頸動脈超音波検査時に偶発的に指摘された甲状腺結節の所見(結節のあった場所、大きさ、形状、結節の性状、血流の状態、結節の個数)
- 3) 偶発的に指摘された甲状腺結節に対して穿刺細胞診が実施されたか否か、および細胞診所見
- 4) 偶発的に指摘された甲状腺結節に対して手術が実施されたか否か、および組診所見、合併症、追加治療の有無
- 5) 甲状腺超音波検査にて甲状腺結節を指摘された方で、同時に頸動脈超音波検査も実施されている場合、頸動脈超音波検査において甲状腺結節が指摘されているか否か、指摘された甲状腺結節の特徴、指摘されていなかった甲状腺結節の特徴

上記を行うことで、頸動脈超音波検査にて偶発的に発見される甲状腺腫瘍の特徴や、どのような課題があるのかについて検討し、公表します。

なお、得られた情報は、そのファイルのみでは患者さん個人が特定できない形で保存し、内科学講座内科学第一医局内の鍵のついた棚に保管されます。

研究の期間

2026年3月（研究許可後）～2028年12月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：野津 雅和

島根大学医学部医学部内科学講座内科学第一 野津 雅和

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2028年9月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

この研究で集める情報は、研究を始める前から既に誰のものか識別できないようになっています。そのため、ご自身の情報をこの研究に利用してほしくないといった申し出に対してはご要望に沿うことはできませんのでご了承ください。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一／附属病院内分泌代謝内科 野津 雅和

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2183 FAX 0853-23-8650